

9:30	事務局 (企画課長)	定刻となりましたので、ただいまから、第1回南国市総合教育会議を開会いたします。それでは、平山市長よろしくお願ひいたします。
開会の挨拶	市長	本日は南国市総合教育会議にご出席いただきまして誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症は、緊急事態宣言解除後、再び首都圏での感染が広がっております。新しい生活様式を踏まえて、今後も、感染予防に努めてまいりたいと思います。本日の議題の一つも「新型コロナウイルス感染症対策」ということで、皆様も大変ご心配されていることと思いますが、よろしくご意見いただきますようお願いを申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。
議事(1) 9:32	市長	それでは、議事に入らせていただきます。 まず始めに、「(1) 令和2年度の教育行政方針」について、皆様方からご提案をいただき協議したいと思います。教育長よろしくお願ひします。
	教育長	【資料1 南国市教育振興計画(令和2年度～令和4年度)概要版 を基に説明】
	市長	ご報告ありがとうございました。これにつきまして教育委員の皆様から補足のご意見等はございませんでしょうか。
	教育委員	(意見なし)
	市長	小学校の英語教育は順調に準備ができているのでしょうか。
	教育長	本市の場合は、香南ブロック(大湊小学校・日章小学校・香南中学校)が10年くらい前に英語教育の研究指定を受けて、南国市の先頭を走っていましたので、香南ブロックでの実績を他の地域に広めるような取組を行っております。ただ、やはり小学校の英語科は、教員に実績が少ないため、一足飛びにはいかない状態です。 教員を鳴門教育大学などの専門機関に派遣することによって、リーダーとなって広めていくという方法で推進しております。
	市長	教員の方は、初めて指導で悩まれることが多いのではないのでしょうか。
	教育長	香南ブロックでは、何年も前から、中学校の英語科の教員が小学校に入って一緒に指導を行っていましたが、一昨年から、大篠小学校に英語の専科教員を配置しまして、学級担任と一緒に英語の授業をやることによって、レベルアップを図っております。英語教育は、学校によって温度差があるのが現状です。
	市長	大篠小学校以外の全ての学校でそのような専任の先生が配置されるというような形ではないのですよね。
	教育長	加配の教員なので、一定規模以上の学校でないと配置されません。 香南中学校の英語の教員が市内の小学校を巡回し、授業に入って助言をするように計画しています。
	市長	小学校の先生は、どの先生も英語指導のスキルが必要になるということですね。

教育長	そこが一番難しいところです。事務局から補足説明はありませんか。
教育委員会事務局	今年3年目の取組になりますが、大篠小学校以外の小学校の3・4年生の外国語活動や5・6年生の英語科の授業に、香南中学校の英語の先生が入って、指導力の向上を図っております。 また、日章小学校では、2年後に開催される全国大会発表に向けた取組を本年度からスタートしております。新型コロナウイルス感染症の影響により変更の可能性もありますが、県内全域に声をかけ、英語の公開授業を今年度に2回実施する予定です。講師の先生を招聘し、講話をいただきながら、公開授業や授業後の研究協議等において、英語教育活動の推進を図ってまいります。
市長	ありがとうございました。 他にご意見等ございませんか。なければ次の資料についてご説明をお願いします。
教育委員会事務局	【資料2 南国市のいじめの状況等実態報告 資料3 令和2年度 6つの提言に係る取り組みについて を基に説明】
市長	ご説明ありがとうございました。これにつきまして教育委員の皆様から補足のご意見等はございませんでしょうか。
教育委員	(意見なし)
教育長	いじめが起こるということは、悪いことであるというイメージが非常に強くありますが、それがいじめを見えにくくしたり、見ようとしない風潮を招いたりすることが心配されます。いじめについては早く対応することによって、重大な事態を防ぐこととなりますので、どんな小さないじめでも見逃さないために、この「認知件数」を上げていくという考えでやっております。「認知件数が減ったからいい」ということではなくて、「認知件数を上げることで、重大事態を防いでいく手立てになる」という考えを持っておりますので、ご理解いただきたいと思えます。
市長	いじめはあるものだという新たな視点で取り組まれているということですね。いじめにもいろいろな種類があり、冗談めいたものや茶化したものもあるのかもしれませんが、ちょっとのきっかけを拾う、見逃さないとする姿勢は大切だと思います。 ご説明のありました、パソコンや携帯電話での誹謗・中傷が起りやすい環境になってきているという件ですが、心無い誹謗や中傷をインターネット上で見た方が、本当のことであると認識してしまうこともあると思います。どのような形で抑止を図ればいいのでしょうか。人権教育のように、意識啓発を継続していくことになるのでしょうか。
教育委員	いじめの定義の変更により、高校においても、たしか平成29年にいじめの認知件数が激増しておりまして、例えば、「友達から「授業中に寝たらいけないんじゃないか」と言われたのが嫌だった」という事例も数えています。ご質問の匿名性の高いSNSで嫌なことを言われたというものがある一方で、匿名性のないグ

	教育委員	<p>ループラインのようなところでのいじめもあり、高校生になってもあまり考えずに発信してしまう状況にあります。</p> <p>法律が整備され、子どもたちに「誰が言ったか分かるんだぞ。匿名性はないんだぞ」ということが理解できれば抑止力になると思いますが、一番は、6つの提言に係る取り組みの「児童生徒が適切なゲートキーパーになるための学級・学習集団づくり(資料3 P.1(1)⑤)」の雰囲気づくりが大切だと思います。</p>
	市長	<p>ありがとうございます。そういった雰囲気づくりの推進をお願いしたいと思います。</p> <p>他に何かご意見ございませんか。</p>
	教育委員	<p>コロナ禍で、人への批判の機会が増えてしまい、子どもたちに大きな影響を与えていると感じています。コロナによる一斉休校直前の交通指導で子どもたちの会話の中に「コロナのせいで」という言葉をたくさん聞き、ハッとしました。「どうして今までできていたことができなくなったのか」という大人の不満は、子どもにも伝わっています。世の中は批判であふれ、その影響が子どものいじめや自殺につながっていくのではと心配です。</p> <p>そもそもいじめはなぜ起こるのか、根本的な原因を解決しなくては、この問題はなくならないと思います。</p> <p>子どもが自らSOSを出す、最終的に自分自身のゲートキーパーになれるのは自分だけですので、ゲートキーパーの養成も大切です。</p> <p>つまり他者とのコミュニケーションが大切になってきますが、それ以前に自分自身との対話が大切だと思います。自分自身との対話の質を上げることで、他者とのコミュニケーションの質がさらに向上していくと考えます。</p> <p>そのためには、自分のことを諦めない、責めないことが大切です。「学校に行きたくない」「死にたい」という自分自身の感情を否定しないで、俯瞰して見られるようになると、次の行動「じゃあこれからどうしようかな」と、未来について考えることができるようになります。</p> <p>いじめる側もいじめられる側も自己否定の感情が根底にあり、自分自身との対話、感情をどうコントロールしていくのか、というところが一番大事なのではないかと思います。</p>
	市長	<p>ありがとうございます。自尊感情を育てる教育というか、そういった機会づくりは大切だと思います。人と人の関わりの中で何か問題が起こった場合に「人のせい」とならない環境づくりは大切だと思いますが、なかなか難しいことだと思います。非常に難しい課題ではあると思いますが、考えていく必要がありますね。</p> <p>他にご意見ございませんか。</p> <p>なければ「(2)新型コロナウイルス感染症対策について」、皆様方からご提案をいただき協議したいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
議事(2) 10:06	教育委員会 事務局	<p>【資料4 GIGAスクール構想・ICT活用・第2次補正予算概要等を基に説明】</p>
	市長	<p>ご説明ありがとうございます。教育委員の皆様から補足等ございませんでしょうか。</p>
	教育長	<p>新型コロナウイルス感染症対策について、教育委員会が今後実施する事業について</p>

教育長	てご説明をさせていただきましたが、すでに実施している事業につきましては、休業中の給食の補助や就学援助家庭への1万円の支援、今年度になって急激に所得が落ちた家庭への早期の就学援助の拡大についても取り組んでまいりました。今後、学校に対しての支援の一つがGIGAスクールと言われるパソコンの導入、それから、人員の派遣ということで、国の2次補正に準じて行っていくという説明でした。
市長	先ほどの英語教育も同じですが、ICT支援員が配置されるのは非常に心強いことと思いますが、人の確保については難しい面もあると思います。ぜひとも人を探していただいて、環境整備を図っていただきたいと思います。
教育長	教員のスキルアップには、英語教育と同じように、やはり時間を必要とすると思います。
市長	今までICT関係に携わったことのない方が、新たに現代のICT技術を活用した教育に慣れていくというのは、非常に壁が高いこととは思いますが、まずは環境を整えていただき、お金の面も調整しながら、体制についても整備を進めていただきたいと思います。 新型コロナウイルス感染症対策として、各学校には100万円、200万円というような国の補助ができたわけですが、これについては、各学校でそれぞれに検討され、違う取組をされるということでしょうか。
教育委員会事務局	南国市内の各小中学校に100万円から200万円を上限に予算化をしております。現在、各学校において購入品を検討しております。具体的には、消毒薬やサーキュレーター、密を避けて運動会を実施するためのテントなどの相談があります。
市長	各学校において、それぞれの環境で考えていただくということですね。
教育長	これほどの大きな予算というのは、学校ではほとんど経験がなく、不慣れな状況ですので、教育委員会事務局では、各学校の校長と学校の事務職を集めて説明会を開き、予算の内容や使途について説明をさせていただいております。
市長	これまで十分な予算配分が出来ていないところもございまして、非常に恐縮ではありますが、有効な手段を考えて使っていただきたいと思います。
教育長	フェイスガードの購入を検討している学校もあります。マスクをしている先生の顔しか知らず、外すと「先生ってこんな顔をしていたんだ」と感じる児童も多いようです。マスクのみの学校生活が定着していることがよく分かります。
市長	感染症対策が根づいてきたということでしょうか。それぞれの環境においてご対応をいただきありがたいことだと思います。 他にご意見ございませんか。 タブレットについては、家庭のネットワーク環境も課題になると伺いましたが、大学などはオンラインの授業が行われたりしています。今後、どのように進めていきますか。

議事(3) 10:23	教育長	家庭のネットワーク環境の調査を行っておりますので、事務局からご報告いたします。
	教育委員会 事務局	小中学校の全世帯にインターネットの利用環境について調査を行ったところ、90%以上の世帯から回答が得られ、200弱の世帯(20%弱)に光回線のインターネット環境がないという結果でした。ただし、その200弱の世帯の中には、保護者所有のスマートフォンによってインターネットが利用可能な場合もあります。また、光回線の利用環境がないのは、小学校の低学年になるほど高くなる傾向が見られました。光回線を利用することが前提となると、利用環境のない200弱の世帯にルーターの貸出を行う必要がありますが、GIGAスクール構想の予算は、ルーターの貸出は対象とするものの、通信費は対象外となり、通信費の負担について検討をする必要があります。
	教育長	先週、岩沼市を訪問した際に、この件について百井教育長と話をしましたが、岩沼市では、インターネット環境が整っていない世帯が、全体の約10%程度で、ルーターを貸し出す形で整備を進めており、通信費は家庭での負担という方向で動いているとのことでした。ただ、10%ということなら、公費負担の可能性もありえるかなということでも検討もされているようです。
	市長	どこまで支援するかということですね。インターネットが利用できて当たり前の時代にもなっているのかなという気はしますので、検討の必要がありますね。地方財政と直結する問題ですので、考えながら進めていただくところですが、そういう時代がきたのだと感じています。
		他にご意見がなければ、(3)その他に入らせていただきます。その他では、1件、今年度の日程につきまして、事務局より報告があります。
	事務局	それでは、会議次第の下段をご覧ください。本年度も、本日を含め3回の会議開催を計画しておりまして、第2回は10月20日(火)、第3回は令和3年2月18日(木)を予定しています。次回10月20日につきましては、昨年度第3回の会議において9時30分開始とお知らせしておりましたが、30分繰り上げ、9時開始と変更させていただきますので、よろしくお願いいたします。また、この3回の会議以外に協議事案が生じた場合につきましては、臨時的に開催されることがありますので、重ねてお願いいたします。
	市長	事務局からの報告につきましてご意見等はございませんでしょうか。
	教育委員	(意見なし)
	市長	これで予定しておりました議案3件、全て終了いたしました。最後にその他、何でも結構です。ご意見ございませんか。
	教育委員	(意見なし)
10:24	市長	それでは、以上をもちまして、本日の令和2年度第1回総合教育会議を終了させていただきます。本日は誠にありがとうございました。